

福島市教育委員会定例会会議録	
1 場 所	福島市役所複合棟 3階 301会議室
2 日 時	令和7年4月2日 午前9時00分
3 出席者	
教育長 佐藤秀美 教育長職務代理者 渡辺慎太郎 委員 高谷理恵子	
委員 立花由里子 委員 丹野友幸	
4 欠席した委員	
5 説明のため出席した職員	
教育部長 橋本江理 教育部次長兼教育総務課長 長南敏広	
学校教育課長 芳賀沼 彰	
教育施設管理課課長補佐兼学校給食係長 鈴木祐二	
教育研修課長 齋藤亮一 生涯学習課長 遠藤 彰	
中央学習センター館長 高橋義成 図書館長 薮内雄治	
教育総務課課長補佐兼庶務係長 森山 淳	
6 議事内容及び経過	
(1) 開 会	午前9時00分
(2) 日 程	本日1日間
(3) 署名人の決定	委員 高谷委員
	委員 丹野委員
(4) 記録係	教育総務課庶務係主査 渡邊貴博

1 議事	
会議冒頭、その他 本市におけるいじめ重大事態等の現状については、個人情報等を含むことから関係職員だけで行い非公開とすることについて確認、全員の承認を得る。	
議案第34号 福島市学習センター運営審議会委員の委嘱について	
生涯学習課長（教育委員会定例会提出事項 P3により説明）	
教育長	異議ないため本議案を原案のとおり承認する。
2 教育長報告事項	
① 令和7年3月市議会定例会議における質問及び答弁趣旨について	
教育部長 （教育委員会定例会提出事項 別冊①により説明）	
渡辺委員	P21、ふくしまっこ未来トークについて、対面で再開できないか、対象を中学生に拡大できないか2つ質問が出ている。子ども議会を行っていた当時、どのようにフィードバックできるかという問題があった。令和元年の教育点検評価の中でも同様の指摘を受けている。「2000人アンケート」は皆さん参加しているという意味でよかった。今後は中学生を対象に実施し、生徒の変化が今後の参考になるのではないかと。小学生を対象に行っていた時と同様に行えるか、課題もあると思うが、福島市教育振興基本計画基本目標が「ふるさとへの誇り」から始まっているので、小学生1回、中学生1回機会を設けることで、福島市に生まれて福島市で教育を受けて育てるという気持ちを再確認する機会になると思

	うため、今後の課題として検討していただきたい。
教育部次長	答弁については市長まで答弁検討している。その中で今年度どのような方法があるのか検討し、可能であれば令和８年度から新たな子ども議会と未来トークを合わせた形にしていきたい。委員ご指摘の点については今後内部で検討させていただきたい。
高谷委員	中学２年生、３年生レベルであれば、市政に対する提言ができると思う。作り込んだ提言を行い、一部でも反映され、自分たちの力でシステムが変わり、子どもたちが共有すればその後の市政、或いは自分たちの暮らしに対する市民活動の意識に繋がっていく。その意味で中学生は一番意識が高まる時期だと思う。議会のみならず、アクション・リサーチのような教育プログラムとリンクさせると将来的に子どもの興味にも繋がると思うので検討していただきたい。
高谷委員	Ｐ２０、５歳児検診についてどこが主導でいつ、どのように進めるのか。
教育研修課長	５歳児検診は子ども家庭課担当。教育研修課でも事前に保護者がどのような悩みを抱いているか把握する必要がある。子ども家庭課と連携しながら情報共有を行い、５歳児検診と未就学検診を繋げていきたい。
高谷委員	今年度から実施しているのか。
教育研修課長	そこまでは把握していない。
教育長	補足。令和８年度の実現を目指して今年度関係機関が集まって話し合いをするような形かと思う。

	その中に教育委員会も含まれるので、子どもたちにより良い
	成長に繋がるよう我々としても意見を述べていきたい。
丹野委員	P 4、松陵義務教育学校の「まつかわ学」について、以前に松川
	小学校で説明会有り、保護者の期待も高まっている。P 1 7
	の答弁の中にもあるが、総合的な学習の中で地域の事業所との
	連携や地域との関わりが展開された授業であると小学生に是非知
	っていただきたいこともあるので、地域の課題をテーマとして設
	定して、「まつかわ学」の学習の内容に取り入れていただきたい。
学校教育課長	これまでのまつかわ学を考える会から始まり、地域の方々からは
	地域全体をフィールドとして考えるよう意見があった。総合的な
	学習の時間の中では、例えば旧水原小学校の子ども達が下川崎の
	ことを学ぶ、下川崎の子どもたちが金谷川の分野を学ぶ。お互い
	フィールドを跨いで松川地区全体にして総合的に学んでいくとい
	うことを進めていく。その中で地域の方々からの協力や連携も必
	要になる。これについて今年度より松陵義務教育学校が本市2つ
	目の学校運営協議会を持つ学校となり、その委員会の中でも地域
	の方々のご意見をいただき、また地域のため学校として何がで
	きるのかということも考えながら活動を進めていきたい。また8
	年生、9年生については縦割り、ゼミ形式で協働的な学びを行う。
	また松ラボという名称で個人個人が学びたいことを探求していく
	ことも考えており魅力ある学びに繋げていきたい。
② 令和7年3月市議会定例会議	教育委員会所管分の議案審議結果等について
教育部次長	(教育委員会定例会提出事項 別冊②により説明)

③ 福島市青少年指導員の委嘱について	
生涯学習課長（教育委員会定例会提出事項 P 2 5 により説明）	
④ 福島市女性教育指導員の委嘱について	
生涯学習課長（教育委員会定例会提出事項 P 2 6 により説明）	
高谷委員	女性教育指導員という名称に強い違和感がある。今回新任の方が多いので新しい視点で考えていただきたい。
生涯学習課長	女性教育指導員については、ほぼ各学習センターの女性学級の元メンバーである。例えば女性学級の委員長が委員長の任を降りて指導員になる方が多い。そのため外部から指導員が入るというよりは内部からの持ち上がりで指導員になる方が殆どである。時代に合わない部分も出てきている。しかし女性学級の間では女性の活躍の場を探っていきたいという意見も多い。それを踏まえながら新しいことも検討していきたい。そのためにも意識を変えていきたい。
高谷委員	活動内容は理解した。名前を変えることはどうか。
渡辺委員	30年後、50年後、このままの形で残っているとは思えない。どこかのタイミングで社会的に合わないということになり、各自治体が一斉に変更することが考えられる。そこまで待たないと変えられないことは残念である。まず他の自治体で女性学級の名称で活動をしているところと変えているところを調査してはどうか。
生涯学習課長	前年度調査している。調査した自治体の殆どが女性学級という名称で活動している。しかし女性だけの学級ではなく、男性も入っ

た学級を開設している自治体もある。昨年度もどのように変えれば良いか検討はしていたが、良いアイディアは出なかった。今後	
も検討する。	
立花委員	私の会社に女性学級の方が社会科見学に来たことがある。その際
	に女性だけではなく男性も入ってきて良いものだった。条例
	に定まっていて女性学級を設置しなければならないのであれば、
	条例自体に問題があると思う。女性だけ男性だけという考えは現
	状に合わない。福島市が率先して変えてく必要があると思う。
3 その他	
・今後の日程について	
教育総務課長（教育委員会定例会提出事項 P 27により説明）	
①令和7年度 福島市総合教育会議の日程について	
第1回 令和7年 7月 9日（水）10：00～11：30	
第2回 令和7年10月14日（火）10：00～11：30	
第3回 令和8年 2月27日（金）10：00～11：30	
②次回の定例教育委員会の開催について	
令和7年5月7日（水）午前9時00分から市役所複合棟	
3階 301会議室	
終了後に協議会を開催。	
③今後の主な行事予定について	
教育長・教育委員の出席が予定されている事業を周知。	
④今後の教育委員会の開催について	

6月定例会は5月28日（水）午前9時00分から市役所複合棟3階301
会議室で開催予定。
午前10時30分休議。
午前10時31分再開。以下、非公開。
4 その他（非公開）
・本市におけるいじめ重大事態等の現状について
学校教育課長（別冊資料により説明）
質疑及び協議
以上終了 午前10時40分
記 録 渡 邊 貴 博
委 員
委 員